

## 身延中学校新校舎等建設基本設計及び実施設計業務に係る公募型プロポーザル審査結果

身延中学校の校舎を下山地区へ移転改築し、学校施設と併せて身延学校給食センター及び中富学校給食センターも下山地区へ集約再配置を行うため、「身延中学校新校舎等整備基本計画」を策定しました。本プロポーザルは、この基本計画を実現するため、豊かな感性と高い技術力、豊富な経験を有する優れた設計者を公募型プロポーザル方式により選考しました。

その結果について、次のとおり特定者及び次順位者を選定しましたので公表いたします。

### 1 審査結果

特定者 株式会社 馬場設計 96.23点  
次順位者 株式会社 長大 95.22点

### 2 審査経過等

#### (1) 審査概要

##### ア 第一次審査（書類審査）

6者から提出された参加表明書について事務所の能力・実績、管理技術者及び各主任担当技術者で構成される担当チームの能力・実績を審査し、5者を選定しました。

##### イ 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）

5者から技術提案プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、評価委員の評価が最も高かった提案者を特定者としました。

#### (2) 審査日程

項目	月日
プロポーザル提案事業者募集の公告	令和2年4月20日
第一次審査（書類審査）	令和2年5月28日
第二次審査（プレゼン・ヒアリング審査）	令和2年7月 2日

### 3 審査講評

株式会社馬場設計の業務への取組体制と「やさしい木の香りと温もりに包まれた学び舎～身延中スタンダードを育む24の提案～」を軸とした技術提案を高く評価し、特定者として選定しました。

技術提案のプレゼンテーションは、管理技術者を中心とした会社の考え方、意気込みが感じられるものであり、共に基本設計及び実施設計を完成していきたいと感じさせるものでした。

「身延中スタンダードを育む24の提案」を軸とした、多様な観点からは生徒目線も十分考慮されており、防災、防犯、エネルギーに関する提案からライフサイクルコストに関する提案まで、身延町の実態を含めて提案されたことが高評価となりました。

また、本設計の特徴である木造躯体について、オール県産構造材の木造校舎として、耐火構造、長寿命化への提案がなされており、木材調達まで具体的な提案がされていました。

今後は、より具体的な配置、設計を行っていく中で関係者との意思疎通を十分に図り、生徒が誇りを持てる学校が実現できる設計提案をしていただけることを期待しています。

次順位者となりました株式会社長大は、設計実績が示すとおり、力のある技術提案をいただきました。メディアストリームを中心とした教室配置は図書館を軸とし、生徒の学習や人の流れを良く考えられているものであり、学びの展開や新たな発想に寄与する提案でした。

木造躯体については、木を題材とした教育環境を生徒に準備し、木造校舎であることを強みとした内容が評価されました。また、身延町の特徴と地形をよく理解しており、これらを踏まえた富士川の浸水対策についても、浸水域を考慮された具体的な浸水対策が提案されました。

最後に、本プロポーザルにご参加いただいた各者の皆様には、提案書の作成等に多大なる熱意を持って真摯に取り組んでいただきましたことに心から感謝申し上げます。

令和2年7月9日

身延中学校新校舎等建設基本設計及び  
実施設計業務委託評価委員会

委員長 施設整備課長 羽賀 勝之